

菊池川流域等の減災に係る取組方針を策定しました！

- 日時 : 平成28年8月5日(金) 15:30~
- 出席者 : 玉名市(市長)、山鹿市(市長)、菊池市(市長)、熊本市(代理 危機管理監)、
荒尾市(市長)、玉東町(代理 総務課長)、和水町(町長)、南関町(町長)、
長洲町(代理 副町長)、熊本県危機管理防災課(欠席)、
熊本県河川課(代理 審議員)
熊本県北広域本部(代理 土木部長)、熊本県玉名地域振興局(代理 土木部長)
熊本県玉名地域振興局(代理 土木部長)、熊本県鹿本地域振興局(代理 土木部長)
熊本地方気象台(代理 次長)、菊池川河川事務所(所長)

■ 策定のポイント
 菊池川流域で近年大きな災害が起こっておらず災害の記憶が風化しつつあったことから、減災に向けた取組メニューの抽出が困難であったため、熊本地震対応に関する自治体アンケート・地元消防団や自主防災組織のリーダーからの聞き取り等を行うことによりさまざまな課題を抽出し、取組方針を策定しました。

- 主な意見
 - 【山鹿市長】
住民は逃げないということ。そのための啓発活動を繰り返し行うことで防災意識が高まる。
 - 【熊本県 鹿本地域振興局 土木部長】
ハード整備は限られた予算の中で行っており地域によって差が生じるため、ソフト対策が重要。熊本県として、市町の取組をしっかりとバックアップしていきたい。
 - 【玉名市 防災安全課長】
すべてのメニューを一気にできない。熊本県北圏域で足並みを揃え、連携を深めながら取組の底上げをすることが大事。



協議会開催状況